

平成 19 年度 第 4 回 自然海浜公園計画検討部会 記録

平成 20 年 1 月 24 日 (木) 午後 7 時 00 分 ~ 9 時 40 分

議題

- (1) これまでの議論と今後の流れ
- (2) マリンライフ砂浜ゾーン(海水浴場・県有地・市有地)について
- (3) 自然海浜ゾーン・漁港ゾーンについて
- (4) 全体の土地利用の考え方
- (5) その他

出席 11 名

傍聴人 2 名

事務局

企画調整課：金子課長補佐、秋元課長補佐、関原主任

産業振興課：竹内担当主査 海浜課：安部川担当主査 都市計画課：野崎担当主査

景観まちづくり課：関根課長補佐 公園みどり課：興津担当主査 環境政策課：欠席

議事

事務局)

今回は資料の送付が遅れまして申し訳ありませんでした。

整備計画の公募について神奈川新聞とタウンニュースと市の広報誌とで募集をしています。また皆様の団体の方にも PR をお願いしたいと思います。

部会長)

これから第 4 回自然海浜公園部会を始めます。

長谷川)

今回は 2 つのゾーンに分けて考えていきたいと思います。最初に海水浴場を中心としたマリンライフ砂浜ゾーンと県有地・市有地について、その後漁港から西側についてお願いします。

長谷川) = 説明 [資料 P1]

P1 はこれまでの流れと今後のスケジュールです。

左側から、前回のあらまし・今後の議論の内容・将来的な考えという構成になっています。漁港整備については、舗装などの整備・柵・植栽、また動線計画や運営管理などを検討します。また整備スケジュール、県営の駐車場との調整も行っています。

お祭り広場に関しては、飛砂対策を兼ねた管理用の通路の整備、砂草の成長を考慮した方法を考えて頂きたいと思います。飛砂の予防に関して施設整備は予防にしかならないので、砂が飛んできてしまった時の対処についての検討を行いたいと思います。

海水浴場については、台風についての影響、海岸の侵食、利用客についてなどを検討して意見を頂きたいと思います。

部会長)

次の説明に入りたいと思います。

長谷川) = スクリーン説明[資料 P2]

先ず事務局の方から海水浴場組合とのヒアリングの報告をさせて頂きたいと思います。その後、海岸に必要な利便施設等についてご意見を頂きたいと思います。

事務局)

1月17日の木曜日に海水浴場組合の方々とのヒアリングを行いました。

- ・ 入込み客の減少をどう思っているのか。
- ・ また3年前から毎年約5万人ずつ入込み客が減っている。
- ・ PRをする場合はサザンビーチをもっとアピールしたい。
- ・ 134号に看板を置いて欲しい。
- ・ 天候不順による入込み客の減少。

今後の魅力について

- ・ 砂浜が汚い。
- ・ 駐車場の土が砂浜に入る。
- ・ 三浦海岸は毎月イベントをやっている。茅ヶ崎もそうしたい。
- ・ 通年の営業をやってみたい。(実験的な事を含めて)
- ・ 海水浴以外のレジャーを考えたい。
- ・ 駐車場について。駐車場の増加、自動車以外で来られる人への対応など
- ・ 海の家について。プレハブ以外でもやってみたい。
- ・ 設置していく上でのコストの問題など。

長谷川) = 説明[図資料 P3]

前回の部会の皆様のご意見と、海水浴場組合のヒアリングの結果が概ね一致していると思います。

本日は、通年施設と夏のみ施設の分割整備、海の家建築コスト、今後の海岸侵食のリスク、海水浴場の将来像を議論して頂いてまとめたいと思います。

部会長)

実際に海水浴場組合から来ている方のご意見と、市民が求めているものに差があると思いますが。海水浴場組合の方のご意見を頂いてから、皆さんにもご意見を頂きたいと思いたす。

委員)

組合員の話をもとめる必要があるため一方的には出来ない。市でまとめてやるならば皆さんも納得させる事ができると思う。個人それぞれの考え方や、やり方があり違っている。

そう考えると今すぐには出来ないと思う。将来的に共同経営が出来れば良いと思うが、売りに上げに差が生じた場合の対処の仕方などもあり色々な問題が起こると思う。

部会長)

今後はこのような考えもしていくという事と、茅ヶ崎の海水浴場をどのようなものにしていくか。それがこれからの議論だと思います。

委員)

マリライフ砂浜ゾーンは、現在さびれた感じで面白くない。例で説明して頂いたような環境であれば通年のお客さんも来やすいと思う。ヘッドランドの下のボードウォークに関しては、夏になるとバーベキューなどの後が悲惨。予約制・有料制などきちんとした管理や設備があった方が良いと思う。また緊急時のホットラインなどの緊急設備があった方がよいと思う。

部会長)

漁港の方にもバーベキューをする人たちがいたりして、茅ヶ崎には管理や決まりが曖昧な状況なのでそこをしっかりと決めていった方がよいということですね。

委員)

その場所を通る時に臭いがしていて、とても不快に思うので何とかして欲しいと思う。

部会長)

わかりました。

委員)

バーベキューをするなら区域は必ず決めて欲しい。

部会長)

どこでもではよくないということですよ。

委員)

海岸のトイレとかシャワーとか管理は誰がやることになるのか。

部会長)

海水浴場組合の方たちも候補の一つです。

委員)

Tバーの公衆トイレの管理がなってない。

部会長)

そこは管理を市でやっていて・・・

委員)

あそこも管理がされていないが、今後新しく出来る場合はしっかりと管理されていた方がよいと思う。もしサイクリング道路の南側に施設をつくるならば、台風に対応した現実的な事を考えてつくった方がよいと思う。

会長)

施設をつくれるエリアが限られてしまっている。

副会長)

市営プールと結婚式場と 300m 位だからゴテゴテしたものはつからない方が良いと思う。

長谷川)

現在の海の家は、ガスや水道などを含めて、建設コストが非常にかかります。そのような水回りの部分はサイクリング道路の北側にもっていき通年施設として毎年の建設費を下げます。

食事や休憩スペース的なものをテントにして南側につくります。建設コストなど低予算で出来ると思います。テントは短時間で設置や撤去ができるので、台風の時の対応が可能だと考えられます。大きさとしては約 20m 角のものです。

委員)

今の海の家を変えることですか。

会長)

そうすると個別管理じゃなくなってしまう。

委員)

まず、第一に地元の人に愛されるような場所にしたい方が良く思う。そうしなければ利用者やリピーターが増えていけないと思う。そういう意味ではこの会議も含めて将来像を考える時期にきていると思う。バーベキューについては有料制にして管理をした方がいい。

部会長)

「今は考える時期」と言うのは、本当にそのような時期であると思います。

委員)

自然環境などの事を抜いて考える事はあり得ないと思います。また海水浴場組合の方々もお互いで集まって話す良い機会にあると思います。行政もいいのかもしれませんが、個々の事を考える事も重要だと思えます。

委員)

海水浴場さんの気持ちを一つにして頂いて、方向を見出した上で手をつけていった方がいいと思います。

委員)

今、サイクリング道路には販売店みたいなものがなくて、冬場でも陽が暖かい時は人がいるので、もしかしたら売店を建てたら収益に繋がるのではないかと思います。

部会長)

それは通年ですよ。

委員)

そうです。

委員)

通年型と言っても大きな施設はつけれない。費用や管理が大変である。夏場拡大で冬場は縮小出来るような施設があるといいと思う。

施設が分離されると夏場にサイクリング道路を横切る人が増える。どうするのか。

副会長)

声を掛け合えばいいと思う。

委員)

広場的なものがあつたら良いと思う。

委員)

利便施設が凄くて駐車場が広ければ、「賑わうか」というとそうではないと思います。サザンビーチは有名だけど、ビーチに出て肌を焼きたい人は少なくなっていると思う。逆に冬場も利用できて楽しめるものがあると良いと思います。また 134 号線に看板が無いからいけないという事ではないと思います。サザンビーチカフェも眺望としては実はあまりよくない状況で、金沢の公園の例とは正反対の例であると思います。茅ヶ崎は自然の魅力があるので、それを大切にしていっての方が良いと思います。

部会長)

ボードのロッカーとかは奥にあつた方がいいという事ですよ。

委員)

トイレやシャワーなど細かいものはあつても良いと思います。大きな施設が立ち並ぶのは考える必要があると思います。

部会長)

ではそのようなエリアを選んで施設を集約整備する方向で考えたいと思います。

部会長)

駐車場に変わる交通手段を考えるのも必要だと思う。

会長)

砂浜が汚いから、海岸自体をもっと綺麗にする事を考えた方が良いと思う。

委員)

若い人が来なくなった。

委員)

やっぱり地元の人に来て欲しい。

委員)

施設をつくっても必ず来るわけではないと思う。

副会長)

海水浴場以外にも海にくる目的が必要だと思う。

委員)

逆にバーベキュー客は増えていると思う。ただマナーが悪いからどうかしたい。

部会長)

バーベキューも海のレジャーの一つだと考えられると思う。

委員)

今の場所から考えると、バーベキューの場所は狭いと思う。茅ヶ崎の絶景を大切にしたいし、エリアをつくって確保すれば有料でも来ると思う。

長谷川)

規定の場所でバーベキューをするようにすれば、管理も楽になると思います。海水浴の魅力が低下していて、その分バーベキューやサーフィンなど、海の多様化が進んできています。このような対応もこれからは必要なのかなと思います。

委員)

突発な意見ですが、海の露天風呂などがある所があって、そのような物もいいのかなと思いました。

長谷川)

マリンスポーツとしては。

委員)

スポーツは自然と生まれると思います。

部会長)

今やわらかい素材の海ポートなどを貸し出している所もある。サーフボードのような硬い物じゃなくて、軟らかくて安全なスポーツを考えていったら良いと思う。

副会長)

年間何人来たか集計をとった方がいいかもしれない。

委員)

施設の貸し出しなどをすれば、時代にあった新しい物が生まれると思う。負担も減ると思う。

長谷川)

海水浴場のまとめをして次回にもっていきたいと思います。

委員)

写真があるのですが、この写真は12月30日の午前10時から翌日いっぱい位に砂がたまった様子です。朝4時5時から人力で砂を除去します。その繰り返しが続いています。

長谷川)

以前からずっとですか。

委員)

ずっと変わらないですね。

長谷川)

西側についてはこの後説明をして次回イメージをつくるという事でよろしいですか。

部会長)

では次回イメージをつくるという事なので、お願いしたいと思います。

長谷川) = 説明[資料 P4]

飛砂防止対策としては施設を考えていますが、非常に難しい問題があり、どのような施設がいいのかは未知数です。実験を繰り返していく事が必要であると思います。それ以外は、地元で砂を除去するための重機があると便利だと思いますが。

委員)

そのような話もあったけど、組合で金銭的にも厳しいのでなくなった。

長谷川)

漁港背後の駐車場の管理も必要になるため、予算との関係もあるとは思いますが機械があっても良いと思います。

副会長)

これからは、漁業組合だけの問題で考えてはいけないという事ですよ。

長谷川)

砂の除去は業者を挟むことで、早朝の車の通行に対応できない時間差が発生します。そのため、漁業組合の方達のみで砂の除去に対処出来る方法があった方がよいと考えました。

副会長)

それを「どうつくっていくのか」という事です。連携をしながら「皆でやっていく」というのが今後の課題。いずれにしても、完全に砂を止めることはできないし、溜めてしまうと撤去するのが大変なので、その辺を考えた対応・対処が必要だと思う。

長谷川) = 説明[資料5]

現在の駐車場は入り口が大きくとられています。そこから砂が飛んでくると思うのですが、そこに施設をつくって、駐車場の入り口を絞って小さくしようという考えがあります。

委員)

砂丘になり道路がどんどん埋まっていってしまう。ボードウォークも埋まっていってしまう。だから施設もそこに建てると埋まる可能性があり、それならば現状維持の方がいい。

委員)

何かを建てればお金がかかる。

会長)

構造物で砂が溜まるようになったから、また人の手をかけて取り除いていくしかない。

委員)

西の風が吹くのは12月後半から3月いっぱい、ダンプ500台分になる。

長谷川)

現在の駐車場に、砂止めの柵をつけたらどうですか。

委員)

そこに砂が溜まってしまう。

委員)

溜まらないうちに除去をした方がいい。

長谷川)

駐車場の所に何も無いから砂が飛んでくるということも考えられます。竹垣で仮止めとして砂を溜めて除去する考え方もあるという事です。砂が超える前に除去作業をしないといけないという事です。

副会長)

漁業組合として除去費用はいつもどの位かかります。

委員)

重機とトラックで大体7万円位かかった。漁業組合でお金を集めて除去をした。

委員)

西側の砂は西側へ返した方が一番良いと思う。何かあってからでは遅いと思う。

部会長)

色々な問題がありまして、時間も9時をまわったので、まとめていきたいと思います。

みなさんから一言ずつお願いします。

委員)

駐車場を有料にしてもらったほうが良い。

部会長)

一般の方々も使用するものに組合からお金を出すのは疑問という事ですよね。

委員)

有料化をすることで、そのお金をこのような所に回すという事がいいのかなと思います。

副会長)

駐車場から得た収益をはかって除去コストに使えばよいと思います。

委員)

砂浜に戻す事は別に良いと思います。

委員)

砂草を植える事によって飛砂をとめることも可能なので、そのような考えもあるという事を知って頂きたいと思います。

委員)

草が生えている所には砂は飛ばないと思うけど、草が生えてないといくらやってもダメだと思う。

委員)

漁港の西側を砂浜に戻す事については、皆さんの合意であれば戻さなくて良いと思います。基本は茅ヶ崎海岸を自然に戻す事があるので、施設が増えるのであれば本末転倒になってしまいます。柵をいちいち取り出していくのではなくて、放水する考えがあると聞いた事がある別の方法もあると思います。

委員)

実際に使っているのは、お祭り広場であって北側部分は車が入っていない。

会長)

現状でもそんな感じならば、もっとちゃんとしておいた方が良い。

委員)

一発で別のやり方は難しいと思うから、順番にやっていった方がいいと思う。

委員)

溜まった砂をとってくれば問題がない。

部会長)

落ち着いた砂を入れておけば、通常よりは良いと思う。

委員)

自然に戻すという基本がなくなるとまとまらなくなってしまう。

部会長)

事務局の方で考えて頂いて、次回に持ってきて頂くということでお願いします。

副会長)

お祭り広場の撤去に「当面」と書いてあるが、そんなに長くないと思いますが。

事務局)

市としては護岸とその上の施設の撤去はないという方向になっています。

会長)

波の関係かなんかで撤去が出来ないという事ですか。

事務局)

市の方としては護岸の撤去は難しいと考えています。

部会長)

ではそろそろ、終わりにしたいと思います。

事務局)

今回は2月17日(日)の午後6時からです。御苦労様でした。

終会